



武内直亮

株式会社ブレインマークス ビジネスコンサルタント
大手CVS（コンビニエンスストア）で、
経営改善、経営改革、経営支援を推進、企業
の「本質的な課題解決」に尽力し、多くの
経験と実績を積んできた。人材育成を
中心とした人事評価制度の構築や理念を
中心とした企業文化を築き出す組織づくり
を得意としている。幅広い経験と実績に
裏打ちされたコンサルティングスタイル
はクライアントから高い信頼を獲得して
いる。

10年後のためのアドバイス！

少子高齢化の理由として「総に育
児負担がかかりすぎていること」があげ
られるケースが増えています。日本の
場合はとくに母親にかかる負担が大きく、
これが国全体の経済成長を妨げている
といった指摘もあるほどです。

秋山社長の事業はこうした社会課題
の解決に向けた「ソーシャルビジネス」
という側面があり、スタッフがその思い
に共感していることが最大の強みになっ
ています。おそらくこの強みをより前面
に押し出していくことで、ビジネスの幅
はさらに広がっていくことでしょう。また
今後、子育て支援は行政などがこれま
で以上に力を注ぐ分野になると思われ
るので、あらゆるニーズに対応できる体
制を整えておくことが重要なことにな
ると思います。

とトラブルになりかけたことが
ありました。しかし、私はその
商品が「日本で絶対に必要とさ
れるものだ」と確信していたの
で、販売元に直接手紙を出し、
自分の思いの丈を伝えることに
しました。すると、先方から
理解を得られただけでなく、「正
規の販売代理店として認められ
る」という予想外の結果に。以
来、その商品を軸に少しずつ軌
道に乗りはじめ、徐々に結果が
出るようになっていきました。
武内、まさに「ピンチをチャンス
に変えたわけですね。その後は
どのようなビジネスを展開して
きたのでしょうか。



上：店舗での商品作業 下：顧客対応も丁寧と評判

秋山 「一人の役に立つ仕事をし
たい」という思いを軸に、子育
てママの応援事業に取り組み
してきました。また、その思いに共
感してくれたスタッフたちがつ
まづか集まり、ベビー用品実
店舗（リアル店舗）のオープン
や地域イベントの開催など、ま
まごまごな事業を展開できるよ
うになりました。
武内、事業領域が広がるなかで、
どのそつなことに注意を払って
きましたか。
秋山 当たり前ですが、
どのプロセスでも「心を込めた
サービス」ができていないかどう
かを意識しています。たとえば、
プロダクト選びひとつとっても
「かわいい物」「ワタワタするよ
うな物」、あるいは子育てママ
の負担が減り「楽になる物」と
いった点を重視するとともに、
倉庫での取り扱いから梱包、配
送にいたるまで細心の注意を払
うようにしています。その観点
にあるのは「商品を受け取った
人が少しでも幸せな気持ちにな
ってほしい」という思いであ
り、その思いをスタッフと共有
できているのが当社の強みだと
自負しています。

武内、秋山社長は今も商品の買
いつけや企画・販売に携わって
いるのですか。
秋山 今はそれぞれのチームに
任せ、私自身が直接携わる場面
は減ってきています。というの
も、スタッフと理念を共有して
いけば、方向性がブレることが
ないからです。ただその分、気
づきを得るためのミーティング
は頻繁に行うようにしていま
す。つい最近もあるスタッフが
「子育てママが育児に集中す
ることで社会とのつながりが断
たれ、孤独感を強めてしまう問
題に陥って、私たちに何ができ
るか」と熱く語り合ったこと
です。その後、そのスタッ
フは「子育てママから『Seven
Colors' Dream』には自分を応援
してもらっているように感じまし
たことを周囲と議論し、サービ
ス改善に向けた取り組みを自発
的にすすめてくれています。
武内、今後はいどのような運営体
制を目指していますか。
秋山 かねてから実施している
商品の使い方を講習会を強化し、
同じ月齢の子供を育てている
ママたちが情報を共有し、疑問
や不安を解決できる場を強化さ
せていきたいと考えています。
現在、その実現に向けて県内で
古民家を移入し、イベントなど
を開催できるカフェを開設する
準備をすすめています。
ゆくゆくは子育て支援として、
ママたちに優しいコミュニティ
をつくりたいと思っています。
武内、今後の成長の原動力になっ
ていくと思います。

秋山かおり

あきやま・かおり
株式会社Seven Colors' Dream
代表取締役



生命保険営業職の経験を生かし、子
育てを応援すべく、2008年にベビ
ー用品セレクトショップを立ち上げ
る。その後、10年に株式会社Seven Colors'
Dreamを設立し、現在、年間約1万
2000人のベビー子育て世代に利用さ
れている。23年現在は、社会貢献事業と
して古民家を改装し、子育てママの居
場所づくりを展開中。

10年後をリードする 未来企業 120

「人の役に立つ仕事がしたい」という思いで起業し
ベビー用品販売や子育て支援サービスで急成長中!!

群馬県前橋市を拠点としてベビー用品販売などを手掛ける株式会社Seven Colors' Dream（セブンカラースドリーム）。
同社は「子育て中のママにHappyを届け、愛と喜びあふれる社会を創る」という企業理念の下、
子育てを応援するという思いを軸に社員一丸となって事業を展開しているという。
さっそく、秋山かおり社長の夢と思いに、株式会社ブレインマークスの武内直亮氏がアプローチした。

あり、しばらく会社をはなれて
その原簿を手伝っていました。
その後、調剤を経て母が他界し、
自分自身も体調を壊し、生きる
ことが難しくなり、これからの人
生についてじっくりと考える機
会をいただきました。その結果
たどり着いた答えが「どうせ生
きるなら価値ある人生にした
い」ということ、仕事のやり
がいになる大切なことは「自分
自身が、人の役に立つことを目
的」として仕事に向き合えてい



商品開発の様子

るかどうかが」ということでし
た。そこからしばらくして、こ
れで起業の話をいただいたら、現在
の株式会社Seven Colors' Dreamが立
ち上げました。
武内、起業後、事業をこのよう
にして軌道に乗せたのですか。
秋山 まずはベビー用品の輸入
販売から始めたのですが、ノ
ウハウ不足もあり、最初はなか
なか満足できないような結果を得
られませんでした。そんな時、
ある商品に関して米国の販売元